

別表（第4条関係）

1 補助事業	空き家等改修支援事業	既存住宅状況調査等支援事業
2 補助対象建築物	<p>市内に所在する一戸建て住宅又は長屋建て住宅（共同住宅、重層長屋は除き、店舗等併用住宅を含む。）で、次のいずれかに該当する建築物（過去に補助金を活用して改修したものを除く。）</p> <p>（1） 建築後30年以上経過した、1年以上利用がない空き家。ただし、不動産事業者が媒介等契約を締結し又は所有しているもの（以下「媒介等契約物件」という。）又はかつて媒介等契約物件であったもの（媒介等契約物件でなくなってから1年以上経過している空き家を除く。）の場合には、媒介等契約物件となった日から起算し、連続して2年以上利用がない空き家。</p> <p>（2） 建築後30年未満で、2年以上利用がない空き家。ただし、媒介等契約物件又はかつて媒介等契約物件であったもの場合には媒介等契約物件となった日から起算し、連続して2年以上利用がない空き家。</p> <p>（3） 空き家となつてからの期間が連続して5年以上の空き家。</p>	<p>次のいずれにも該当する建築物（過去に補助金を活用して調査したものを除く。）</p> <p>（1） 市内に所在する一戸建て住宅又は長屋建て住宅（共同住宅、重層長屋は除き、店舗等併用住宅を含む。）</p> <p>（2） 1年以上利用がない空き家。</p>
3 補助事業者	<p>補助対象建築物を所有、賃貸借（サブリースを含む。以下同じ。）又は購入しようとする次のいずれかの者（当該建築物の共有者である場合にあっては、他の共有者全員の同意を得られた者に限る。）</p> <p>（1） 市内に住民登録をしている個人（空き家等改修支援事業であつては、事業完了後3箇月以内に市内に住民登録をする者を含む。）</p> <p>（2） 市外に住民登録をしている個人（相続により対象の空き家等を所有するに至った者に限る。）</p>	

4 補助対象経費	<p>空き家の利活用に必要な改修工事（母屋の改修に伴って実施する場合に限り、土蔵、倉庫、車庫等附帯施設建築物の改修工事を含む。）に要する次に掲げる費用</p> <p>(1) 給排水・電気等設備、内外装改修工事費用（テレビ、冷蔵庫、ルームエアコン、洗濯機等の家電、造り付けではない家具及び棚等に要する費用並びに補助事業者が自ら施工する場合の材料の購入費用は除く。）</p> <p>(2) 設計等費用</p> <p>(3) 家財道具の撤去処分費用</p> <p>(4) 外構整備費用</p> <p>ただし、(2)から(4)に掲げる費用は(1)に掲げる費用に附帯し、その合計額は(1)に掲げる費用の合計額の1/2を限度とする。</p>	<p>次に掲げる費用</p> <p>(1) 既存住宅状況調査に要する費用</p> <p>(2) 既存住宅売買瑕疵保険の加入に要する費用</p> <p>ただし、(2)に掲げる費用は(1)に掲げる費用に附帯する場合に限る。</p>
5 補助率	補助対象経費の1/2	
6 補助限度額	一戸当たり 100 万円	一戸当たり 5 万円
7 補助要件	<p>1 補助対象建築物は次の全ての要件を満たすこと。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体が所有するものでないこと。</p> <p>(2) 空き家等改修支援事業にあつては、改修後、10年以上利活用に供すること。</p> <p>(3) 建築基準法（昭和25年法律第201号）その他関係する法令に違反していない建築物であること。</p> <p>(4) 本市の税に滞納がないこと。</p> <p>(5) 未登記の建築物でないこと。</p> <p>(6) 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年5月8日法律第57号）に基づき指定される土砂災害特別警戒区域に位置していないものであること。（適正な対策が施されている場合を除く。）</p> <p>(7) 過去に他の市町村の補助金を活用して改修等をしていないこと。</p> <p>2 空き家等改修支援事業にあつては、次に掲げる区分に応じ、それぞれ次に定める要件を満たすこと。</p> <p>(1) 補助事業者自らが改修後に入居する場合、次に掲げる要件をすべて満たすこと。</p> <p>ア 事業実施期間内に入居すること。ただし、補助事業者が事業完了</p>	

	<p>後3箇月以内に本市に住民登録をする者場合は、この限りではない。</p> <p>イ 補助事業者が補助対象建築物の所有者であるときは、その所有を開始してから2年未満（当該所有が相続により取得したものであるときは、5年未満）であること。ただし、本市以外に居住している補助事業者が相続により取得したものであるときは、この限りでない。</p> <p>(2) 補助事業者自らが入居しない場合、事業実施期間終了までに賃貸・売買等に係る契約若しくは媒介等契約を締結し、又は倉吉市空き家活用事業実施要綱（平成21年倉吉市告示第113号）第2条第5号に規定する空き家バンクに登録すること。この場合において、既に空き家に登録されている補助対象建築物を改修後に再度空き家バンクに登録する場合又は既に媒介等契約を締結している対象建築物を改修後に再度媒介等契約を締結する、若しくは空き家バンクに登録する場合は、補助対象としない。）</p> <p>3 国、県及び本市の他の補助金の交付を受けていないこと（各補助金の補助対象経費が明確に区別でき、互いに重複がない場合を除く。）。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------